

9月2日(金) A会場(エメラルド)

<b>一般演題</b>	<b>長期予後・症候・検査</b>	<b>8:50</b>	<b>9:35</b>
座長：藤木 稔(大分大学 医学部 脳神経外科学 教授)			

- OA-1 慢性期重症頭部外傷患者の長期予後  
小瀧 勝(自動車事故対策機構 千葉療護センター 脳神経外科)
- OA-2 頭部外傷後の社会復帰状況についての検討  
宮城知也(久留米大学 医学部 脳神経外科)
- OA-3 遷延性意識障害患者の角膜炎・結膜炎について  
山内可奈子(木沢記念病院 中部療護センター)
- OA-4 大脳皮質下白質に多発性のFLAIR高信号を認め、短期間に意識障害が進行した症例  
四宮あや(香川大学 医学部 脳神経外科)
- OA-5 吸引式固定バックを用いたPET検査頭部用固定具の一考  
奥村竜児(厚生会 木沢記念病院 中部療護センター 医療技術部 放射線技術課)

<b>特別講演 1</b>	<b>9:35</b>	<b>10:20</b>
座長：鈴木倫保(山口大学大学院医学系研究科 脳神経外科学 教授)		

- 「脳内ノルアドレナリン神経網と麻酔および意識との関係」  
廣田和美(弘前大学大学院医学研究科 麻酔科学 教授)

<b>シンポジウム 1</b>	<b>病態</b>	<b>10:20</b>	<b>11:05</b>
座長：黒岩敏彦(大阪医科大学 脳神経外科 教授)			

- S1-1 脳血管傷害における視床障害部位と遷延性意識障害  
工藤香名江(弘前大学 医学部 脳神経外科)
- S1-2 下垂体/鞍上部腫瘍摘出術後の視床下部性意識・精神神経障害の病態  
天野耕作(東京女子医科大学 脳神経外科)
- S1-3 重症脳損傷後遺症患者の消費カロリー -実測値からの検討-  
岡 信男(自動車事故対策機構 千葉療護センター 脳神経外科)

S1-4 視覚誘発磁界反応を用いた遷延性意識障害者における視覚残存機能評価

菅野彰剛（東北大学 加齢医学研究所 脳機能開発研究分野）

**シンポジウム 2 イメージング**

**11:05 11:50**

座長：廣瀬雄一（藤田保健衛生大学 脳神経外科 教授）

S2-5 高次脳機能障害患者における受傷時意識消失時間とADL・精神機能・DTIとの関係

和田哲也（木沢記念病院 中部療護センター）

S2-6 定量FDG-PET測定を用いた頭部外傷後遺症・意識障害患者の予後予測の検討

秋 達樹（木沢記念病院・中部療護センター 岐阜大学大学院医学系研究科 脳病態解析学（連携分野））

S2-7 低体温療法・積極的平温療法後の意識障害改善の指標としてのFDG-PETの有用性

河井信行（香川大学 医学部 脳神経外科）

S2-8 重症頭部外傷慢性期における症状改善度と視床糖代謝の関連・FDG-PETによる検討

内野福生（自動車事故対策機構 千葉療護センター 脳神経外科・PET診療部）

**ランチョンセミナー 1**

**12:00 13:00**

座長：鈴木重晴（弘前大学名誉教授、中国大連金石灘病院顧問）

共催：富士フイルムRIファーマ株式会社

「意識障害のイメージング」

藤井幸彦（新潟大学脳研究所 脳神経外科学分野 教授）

**シンポジウム 3 & 基調講演**

**13:15 14:05**

**県単位実態調査からみた意識障害医療の現状**

座長：篠田 淳（木沢記念病院・中部療護センター センター長）

S3-9 滋賀県における遷延性意識障害者の実態調査：入院患者の身体状況と病態の現況

松田和郎（滋賀医科大学 医学部 解剖学講座）

S3-10 青森県における遷延性意識障害者の実態調査

棟方 聡（弘前大学大学院医学研究科 脳神経外科学）

**基調講演 1 13:35 14:05**

「宮城県における遷延性意識障害者実数調査報告」

藤原 悟（財団法人広南会 広南病院 院長）

**シンポジウム 4 神経再生 意識障害治療への可能性**

14:05 15:15

座長：難波宏樹（浜松医科大学 脳神経外科 教授）

竹島秀雄（宮崎大学医学部 臨床神経科学講座 脳神経外科学分野 教授）

## S4-11 霊長類脳の内在性神経幹細胞によるニューロンの再生

金子奈穂子（名古屋市大 医学研究科 再生医学分野）

## S4-12 神経幹細胞移植による社会認識行動の再生 胎児期アルコール暴露モデルを用いた考察

白坂知彦（札幌医科大学 医学部 神経精神医学講座）

## S4-13 正確な神経回路網の再構築を基盤とした神経機能回復への試み

出口 誠（山口大学 医学部 脳神経外科）

## S4-14 中枢神経疾患に対する再生医療：意識障害に対する可能性

安原隆雄（新小文字病院 脊椎脊髄外科）

## S4-15 意識障害に対する神経再生治療—今後の展望

黒田 敏（北海道大学病院 脳神経外科）

**特別講演 2**

15:15 16:00

座長：高橋 弘（医療法人景雲会春日居リハビリテーション病院 総院長）

## 「ヒト成人生体由来の多能性幹細胞（Muse 細胞）の発見と再生医療応用への可能性」

出澤真理（東北大学大学院医学系研究科 細胞組織学分野・人体構造学分野 教授）

**基調講演 2**

16:00 16:30

座長：松居 徹（埼玉医科大学総合医療センター 脳神経外科 教授）

## 「3-3-9 度方式から Emergency Coma Scale までの歩み」

太田富雄（財団法人 大阪脳神経外科病院 名誉院長）

**シンポジウム 5 意識障害救急医療の新展開**

16:30 17:15

座長：加藤庸子（藤田保健衛生大学 脳神経外科 教授）

## S5-16 意識障害の救急診療における coma scale の比較

伊藤勝博（弘前大学 医学部 脳神経外科）

S5-17 ICU への音楽運動療法導入の重要性について

野田 燎 (大阪芸術大学 芸術学部)

S5-18 ACEC に基いた急性期意識障害初期診療のトレーニング教材開発

安心院康彦 (帝京大学 医学部 救急医学講座)

S5-19 神経蘇生の限界と機能予後予測の現状

岩瀬 正顕 (関西医科大学附属滝井病院 高度救命救急センター)

**特別講演 3**

17:15 17:50

座長：太田富雄 (財団法人 大阪脳神経外科病院 名誉院長)

「意識障害の救急医療－神経蘇生の新展開」

奥寺 敬 (富山大学大学院 危機管理医学 (救急・災害医学) 教授)

**9月2日 (金) B会場 (サファイア)**

**シンポジウム 6 & 基調講演 意識障害看護のスタンダード**

8:50 12:00

**摂食・嚥下・口腔ケア**

8:50 9:32

座長：梶谷伸顕 (独立行政法人自動車事故対策機構 岡山療護センター 医長)

S6-20 意識障害患者にカプサイシンを用いた口腔ケアの試み

齋藤玲香 (国民健康保険 黒石病院)

S6-21 意識障害患者における摂食・嚥下障害へのチームでの取り組み

一戸哲子 (弘前脳卒中・リハビリテーションセンター)

**基調講演 3 9:12 9:32**

「意識障害患者における摂食・嚥下、口腔ケアのスタンダードに向けて」

日高紀久江 (筑波大学 人間総合科学研究科 看護科学系 准教授)

**褥瘡予防・スキンケア**

9:32 10:14

座長：畑山 徹 (青森市民病院 副院長・脳神経外科 部長)

S6-22 医療器具により耳介に発生した褥瘡と予防への取り組み

岡田奈穂美 (青森市民病院 看護局)

S6-23 片麻痺患者の麻痺側手指間の皮膚細菌叢と清潔ケアとの関連

土屋涼子（弘前大学医学部附属病院）

**基調講演 4 9:54 10:14 「褥瘡予防～脳神経疾患の特徴をふまえて～」**

丹羽美和子（社会医療法人厚生会 木沢記念病院 看護師長）

**転倒転落予防**

10:14 11:07

座長：重森 稔（柳川リハビリテーション病院 病院長）

阿保都子（弘前大学医学部附属病院 看護師長）

S6-24 高次脳機能障害と片麻痺を有する患者の姿勢崩れと肢位の調整

西田香織（柳川リハビリテーション病院）

S6-25 意識障害患者の抑制具の工夫

齋藤純子（青森市民病院）

S6-26 身体拘束に関する倫理的問題と看護のあり方

松江聖乃（弘前大学医学部附属病院）

**基調講演 5 10:47 11:07 「転倒転落予防の看護」**

荒目千景（社会医療法人 脳神経センター大田記念病院 主任看護師）

**日常生活自立援助**

11:07 12:00

座長：松井英俊（広島文化学園大学 看護学部 教授）

太田江里子（黒石市国民健康保険 黒石病院 看護師長）

S6-27 上下肢変形に対する手術を受けた患者家族の心理的变化～家族へのアンケート調査から～

小笠原幸枝（独立行政法人自動車事故対策機構 岡山療護センター 看護部）

S6-28 在宅遷延性意識障害者に対するトイレ流水音発生装置を用いた排泄訓練の試み

福田寿之（家族の会 わかば）

S6-29 脳神経外科における尿道留置バルンカテーテル抜去に関する調査

渡辺愛美（黒石市国民健康保険 黒石病院）

**基調講演 6 11:40 12:00**

**「在宅で健やかに暮らすための脳神経の運動学習と生活行動への援助」**

林 裕子（北海道大学大学院保健科学研究所 准教授）

**ランチョンセミナー 2** 12:05 13:05

座長：花田勝美（弘前大学医学部附属病院 院長）

共催：興和創薬株式会社

**「意識障害患者の褥瘡ケア」**

漆館聡志（弘前大学医学部附属病院 形成外科 講師）

**一般演題 バクロフェン療法・他の治療法** 13:15 14:10

座長：大平貴之（慶応義塾大学 医学部 脳神経外科 准教授）

- OB-6 重症痙縮に対して髄腔内バクロフェン療法が有効だった脳性麻痺児例  
野村貞宏（山口大学 医学部 脳神経外科）
- OB-7 遷延性意識障害患者の痙縮に対するボツリヌス療法とフェノールブロック  
泉 従道（長野県厚生農業協同組合連合会 鹿教湯三才山リハビリテーションセンター  
三才山病院 リハビリテーション科）
- OB-8 遷延性意識障害患者の痙縮に対して ITB 療法とボツリヌス療法を併用した 1 例  
田貝心平（独立行政法人 自動車事故対策機構 岡山療護センター 診療部）
- OB-9 遷延性意識障害患者のゴマの摂取による肝機能の変化  
松浦晋士（独立行政法人 自動車事故対策機構 岡山療護センター 看護部）
- OB-10 頭部交通外傷後遷延性意識障害患者に対する鍼治療効果の検討  
松本 淳（木沢記念病院 中部療護センター 脳神経外科）
- OB-11 外傷性遷延性意識障害患者の高気圧酸素治療による酸化ストレスと抗酸化力への影響  
山名弥生（独立行政法人 自動車事故対策機構 岡山療護センター 看護部）

**一般演題 & 基調講演 音楽運動療法** 14:10 15:15

座長：中村博彦（中村記念病院 脳神経外科）

野田 燎（大阪芸術大学 芸術学部 教授）

- OB-12 在宅音楽運動療法による嚥下機能回復  
大空倫子（石切生喜病院）
- OB-13 蘇生後脳症患者の社会復帰を目指した音楽運動療法の展開について  
小南佳世（野田音楽運動療法研究所）

0B-14 音楽運動療法による構音・発声機能回復およびコミュニケーション障害克服について

大植京子（石切生喜病院）

0B-15 音楽運動療法継続の意義について

望月恵里（石切生喜病院）

**基調講演 7 14:45 15:15 「音楽運動療法の起源を求めて」**

野田 燎（大阪芸術大学 芸術学部 教授）

**一般演題 意識障害リハビリテーション 認知機能等 15:15 16:00**

座長：森田 功（藤田保健衛生大学 脳神経外科 講師）

0B-16 遷延性意識障害患者の聴覚認知について聞き分け課題を用いた fMRI による検討

奥村由香（木沢記念病院 中部療護センター）

0B-17 脳活動モニタリングによる意識障害の認知リハビリテーション

鈴木公洋（太成学院大学 人間学部）

0B-18 嚥下障害を呈した頭部外傷患者のカニューレ抜去に難渋した一例～看護部との連携～

池戸友梨（木沢記念病院 中部療護センター）

0B-19 特発性正常圧水頭症における認知機能障害の特徴

日高可奈子（日本医科大学武蔵小杉病院 言語療法室）

0B-20 慢性意識障害患者のコミュニケーション獲得への一試策

吉田愛菜（木沢記念病院 中部療護センター）

**一般演題 意識障害リハビリテーション 有効性等 16:00 16:45**

座長：河井信行（香川大学 医学部 脳神経外科 准教授）

0B-21 遷延性意識障害者に対するリハビリテーションの提供後の変化

入 秀樹（リハビリテーション花の舎病院 リハビリ室）

0B-22 遷延性意識障害患者に関する自研究の再検討

白坂有利（城西クリニック 脳神経外科）

0B-23 頭部外傷急性期における早期理学療法の検討

広田桂介（久留米大学病院 リハビリテーション部）

OB-24 理学療法の長期介入により慢性期において運動麻痺の改善を認めた遷延性意識障害症例

関 崇志（広南病院 東北療護センター リハビリテーション科）

OB-25 ペーサーゲート・トレーナーを使用した際の起立・歩行訓練の有効性・効果

青木一夫（医療法人 医仁会 中村記念病院 理学療法科）

**シンポジウム 7 在宅介護の課題と展望**

**16:45 17:50**

座長：長嶺義秀（広南病院 東北療護センター センター長）

紙屋克子（静岡県立大学大学院看護学研究科 教授・筑波大学 名誉教授）

S7-30 脳卒中で意識障害になった患者の家族介護における支援の在り方に関する研究

松井英俊（広島文化学園大学 看護学部 看護学科）

S7-31 長期意識障害患者のケアニーズと介護上の問題点

日高紀久江（筑波大学大学院 人間総合科学研究科 看護科学系）

S7-32 介護保険法を利用している遷延性意識障害者のケアプランの特徴

松田陽子（筑波大学大学院 人間総合科学研究科）

S7-33 広島県における在宅療養中の遷延性意識障害者の実態

久保田直子（広島県立三次看護専門学校）

S7-34 中途脳損傷者の主介護者の「介護者（親）亡き後」への思い：インタビューの分析から

大西久男（大阪府立大学 総合リハビリテーション学部 作業療法学科）

S7-35 介護職への医療的ケアの解禁について

桑山雄次（全国遷延性意識障害者・家族の会）

9月3日(土) A会場(エメラルド)

シンポジウム 8 電気刺激療法の総括と新展開

8:40 9:35

座長：栗栖 薫（広島大学大学院医歯薬学総合研究科 脳神経外科学 教授）

S8-36 不完全植物症の症候 脊髄電気刺激療法後の3例報告

竹内栄一（京都伏見しみず病院 脳神経外科）

S8-37 脊髄刺激療法長期施行後に意識障害の改善を認めた1例

井本浩哉（山口大学 医学部 脳神経外科、先進てんかん治療開発共同体）

S8-38 重症頭部外傷による植物症に対する正中神経刺激療法の効果と安全性

守谷 俊（日本大学 医学部 救急医学系救急集中治療分野）

S8-39 慢性期意識障害患者に対する脊髄刺激と正中神経刺激の脳血流に及ぼす長期効果

塩貝敏之（恵心会 京都武田病院 脳神経科学診療科）

S8-40 脊髄後索電気刺激療法（DCS）における手術適応と効果判定についての検討

森田 功（藤田保健衛生大学 医学部 脳神経外科）

教育講演 1

9:35 10:15

座長：塩貝敏之（恵心会 京都武田病院 脳神経科学診療科 部長）

「脳脊髄刺激療法の新たな展開」

山本隆充（日本大学 医学部 応用システム神経科学 教授）

特別シンポジウム 被災時の対応

10:15 11:55

座長：藤原 悟（財団法人広南会 広南病院 院長）

岡 信夫（自動車事故対策機構 千葉療護センター センター長）

竹内栄一（医療法人清水会 京都伏見しみず病院 院長）

理事長挨拶 神野哲夫

（日本意識障害学会 理事長、藤田保健衛生大学医学部 名誉教授、世界脳神経外科連盟 終身名誉会長）

SS-1 東日本大震災における千葉療護センターの被災状況 ～その時の災害時看護～

小嶋昌子（自動車事故対策機構 千葉療護センター 脳外科 看護部）

SS-2 作成した「震災時対応マニュアル」は東日本大震災で活用できたのか

早川洋子（広南病院東北療護センター 看護部）

SS-3 東日本大震災に被災して見えてきたもの(支える家族の立場から・・・)  
沼田孝市(宮城県ゆずり葉の会・会長、全国遷延性意識障害者・家族の会 副代表)

SS-4 阪神淡路大震災を経験した重度障害者が伝えたいこと  
鈴木和子(全国遷延性意識障害者・家族の会 前関西ブロック代表)

SS-5 被災時の対応に関する全国アンケート調査  
嶋村則人(弘前大学大学院医学研究科 脳神経外科)

SS-6 「被災地の現場で」  
門田一徳(河北新報社報道部記者)

SS-7 行政側の対応と課題  
渡辺孝男(参議院議員、日本脳神経外科学会専門医)

総括  
大熊洋揮(弘前大学大学院医学研究科 脳神経外科)

<b>ランチョンセミナー 3</b>	<b>12:00</b>	<b>13:00</b>
座長：畑中光昭(弘前脳卒中・リハビリテーションセンター 脳神経外科 部長)		
共催：第一三共株式会社		

「アルツハイマー病の診断と治療の新たな方向性」  
東海林幹夫(弘前大学大学院医学研究科 脳神経内科学講座 教授)

## 9月3日(土) B会場(サファイア)

<b>基調講演</b>	<b>8:40</b>	<b>9:10</b>
座長：林 裕子(北海道大学大学院保健科学研究院 准教授)		

「遷延性意識障害患者の回復支援 - 生活の予後診断とエビデンスの構築 - 」  
紙屋克子(静岡県立大学大学院看護学研究科 教授・筑波大学 名誉教授)

<b>シンポジウム 9</b>	<b>看護の関わりによる意識障害の改善</b>	<b>9:10</b>	<b>10:15</b>
座長：鈴木明文(秋田県立脳血管研究センター センター長)			
松月みどり(日本看護協会 常任理事)			

- S9-41 DCS療法を施行した意識障害患者に背面開放座位を導入しての一考察  
中村佳世（藤田保健衛生大学病院 脳神経外科 看護部）
- S9-42 頭部外傷による遷延性意識障害患者に対する背面開放座位の検討 -車椅子との比較  
片岡恵美子（独立行政法人 自動車事故対策機構 岡山療護センター）
- S9-43 遷延性意識障害患者に対する背面開放座位の表面筋電図による効果解析 ~ 第2報~  
岸部友美（自動車事故対策機構 千葉療護センター 看護部）
- S9-44 音楽とアロマテラピーによる五感刺激の有効性~唾液アミラーゼによる評価~  
小山令江（広南病院東北療護センター 看護部）
- S9-45 遷延性意識障害の看護プログラムの開発・経口摂取のための口腔機能の検討・(第2報)  
黒岩恭子（村田歯科医院）
- S9-46 遷延性意識障害患者の笑顔表出のために行った看護介入とスコア変化の比較検討  
遠藤友美（医療法人 医仁会 中村記念病院 看護部）

一般演題	看護の関わりによる意識障害の改善	10:15	10:50
座長：石山光枝（社会医療法人厚生会 木沢記念病院 看護部長）			

- OB-26 「食べられる口づくり」の口腔ケアを通して症状改善した1事例  
岩崎聡美（財団法人 田附興風会 医学研究所 北野病院）
- OB-27 著明な改善を認めた遷延性意識障害患者の一事例を振り返る -看護は何が出来たのか  
大前綾子（独立行政法人 自動車事故対策機構 岡山療護センター）
- OB-28 遷延性意識障害の看護プログラムの開発・生活の予後診断に基づく看護実践・(第3報)  
秋広由美子（自動車事故 対策機構 千葉療護センター）
- OB-29 在宅意識障害患者の音楽運動療法による看護ケア  
荻野ひとみ（ミュージックワンダークラブ、日本フィットネス協会）

座長：上田 孝（上田脳神経外科医院 院長）

二階千津子（弘前大学医学部附属病院 看護師長）

0B-30 遷延性意識障害患者に合併する腎結石再発予防の試み

鈴木 聡（中村記念病院 脳神経外科）

0B-31 経鼻、経口挿管における合併症の比較検討

若林ひとみ（日本医科大学 千葉北総病院 脳神経センター）

0B-32 気管カニューレの交換頻度と呼吸器合併症の発生について

小川智美（渡辺クリニック）

0B-33 唾液分泌の多い遷延性意識障害患者への呼吸ケア

大西理恵（市立岸和田市民病院 3階西病棟）

0B-34 意識障害患者におけるフェニトイン投与の検討

白鳥秀美（帝京大学ちば総合医療センター 薬剤部）

0B-35 ポジショニングピロー導入に伴う使用基準作成によるスタッフの行動変化

柳澤百合（医療法人医仁会 中村記念病院）

0B-36 脳・神経系病棟に勤務する看護師の倫理的問題

境 美穂子（弘前大学大学院 保健学研究科）